

第118期

業務報告書

令和7年度

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月31日



城下町長府

●ごあいさつ



経営理念

私たちは地域と共に歩み
質の高い金融サービスをお届けし
お客様の豊かな暮らしと
地域社会の発展に貢献します

会員の皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のご愛顧を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

ここに、第118期の事業の概況と決算につきましてご報告いたします。

わが国経済は、緩やかな回復基調にある一方、物価上昇や金融政策の転換、緊迫する国際情勢や海外経済の不確実性などを背景に先行きは不透明な状況が続いています。

地域経済においては、原材料価格や人件費の上昇、人手不足の深刻化などにより、多くの事業者が厳しい経営環境に直面し、特に金利ある世界への移行は、中小企業にとって大きな環境変化となっています。

地域で最も身近な金融機関である信用金庫においては、お取引先の課題解決や持続的成長に向けた伴走支援の一層の強化が求められています。

このような経済・金融環境のもと、令和7年度は、「地域社会・顧客の発展に繋がる支援力・営業力・組織力の強化」、「金庫組織体制・営業態勢の強化」、「職員人材力の強化」、「業界総合力の発揮」を重点戦略として、金融仲介機能を強化し、適切な業務運営および経営効率の向上に取り組んでまいりました。また、伴走型の本業支援や資金繰り支援、創業・事業承継支援等に積極的に取り組むとともに、業務効率化やサービス品質の向上に努めてまいりました。

令和7年10月には、当金庫が目指す姿、目指す方向性、また、役職員の共通の価値観とする「にしんWay」を策定し、「にしんWay」を軸とした新たな価値創造を目指して、職員一人ひとりが主体的に行動することでお客さま・地域・役職員の三者価値の向上に取り組んでまいりました。

こうした結果、当期はこの報告書に記載いたしましたとおりの業績を収めることができました。

これもひとえに、会員各位をはじめとするお取引先の皆さま方の温かいご支援の賜物と厚くお礼申し上げます。

さて、令和8年度は経営3か年計画の最終年度として、地域からの信頼性の回復に努めていくとともに、成長・発展に向けた変革を実現する重要な事業年度と位置付けています。安定した収益力と将来に亘る健全性の確保に向けて、ガバナンスの強化、営業態勢の強化、生産性の向上、収益基盤の一段の底上げを図るとともに、経営環境の変化に的確に対応しながら、「にしんWay」を浸透させ、地域における価値創造を一層推進してまいります。また、信用金庫の強みである「Face to Face」による信頼関係の構築を基盤としつつ、デジタル技術を活用した業務改革（DX）を推進し、営業活動の高度化と顧客理解の深化を図ることで、より付加価値の高い金融サービスの提供に努めてまいります。

引き続き厳しい経営環境が予測されますが、「にしん」は、相互扶助を目的とした協同組織の金融機関として「にしんWay」を歩み、役職員が一丸となって地域の活性化、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります所存でございます。

今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

令和8年6月

理事長 池上 弘

● 事業の概況

1. 事業方針

本年度は、経営3か年計画「にししんチャレンジ2024」の中間年度として、「地域社会・顧客の発展に繋がる支援力・営業力・組織力の強化」、「金庫組織体制・営業態勢の強化」、「職員人材力の強化」、「業界総合力の発揮」を重点戦略とし、地域やお客さまの支援に全力で取り組むとともに、生産性の向上、収益力の一段の増強に取り組んでまいりました。また、職員の意識・行動面での変化、更なる活力の発揮を喚起して、地域やお客さまに貢献する存在であり続けることで、持続可能なビジネスモデルの構築を目指してまいりました。

2. 金融経済環境

わが国経済は、緩やかな回復基調が続いているものの、物価高の継続により個人消費は伸び悩んでおり、世界的な政治・経済情勢の不確実性の増大も相まって、先行きは不透明な状況に置かれています。地域経済においては、人口減少、少子高齢化が進むなか、人手不足や原材料価格の高騰、価格転嫁の遅れなど、中小企業の経営課題は多様化し、取り巻く経営環境は厳しい状況が続いています。

このような経済環境のもと、地域で最も身近な金融機関である信用金庫においては、地域のお客さまが抱える課題の解決に取り組み、地域の持続的な発展の実現に向けて、地域経済に貢献する力を発揮していくことが求められています。

3. 業 績

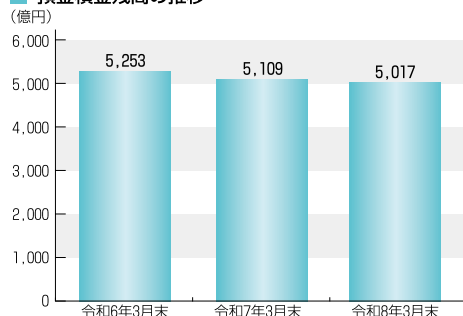
このような環境のなか、収益性の改善に向け、経費の削減、営業体制の強化による生産性の向上に取り組んでまいりました。

当期の業績は、会員の皆さまをはじめ、お取引先の皆さまのご支援のもと全役職員が重点戦略に沿って業務を推進してまいりました結果、以下のとおりとなりました。

（預金積金）

公金預金の減少等により、期中92億円減少して期末残高は、5,017億円となりました。

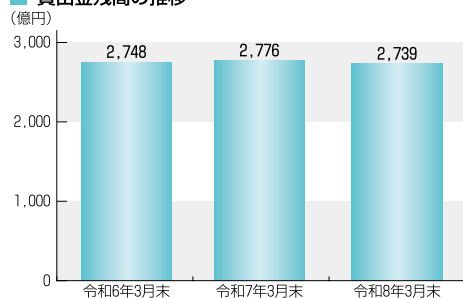
■ 預金積金残高の推移



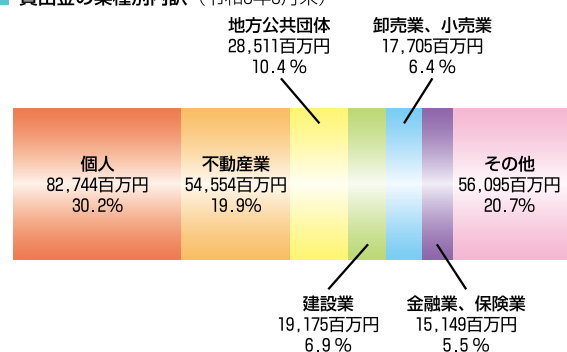
（貸 出 金）

個人向けは増加しましたが、事業者向けの減少により、期中36億円減少して期末残高は、2,739億円となりました。

■ 貸出金残高の推移



■ 貸出金の業種別内訳（令和8年3月末）



(有価証券)

金利上昇に伴い、有価証券評価損の拡大を抑制するため、債券等の売却を実施したことなどにより、期中 226 億円減少して期末残高は、1,240 億円となりました。

(外国為替取扱高)

輸出為替取扱額の減少により、前期比 2 百万ドル減少して 6 百万ドルとなりました。

(貸倒引当金)

資産の健全化を図るため、将来発生の予測される貸倒損失に備えた貸倒引当金を計上しています。

個別貸倒引当金は、3 億 3 百万円の積み増しを行いました。貸出金の償却に伴い引当金を取り崩した結果、期中 1 億 99 百万円増加して期末残高は、30 億 75 百万円となりました。また、一般貸倒引当金は期中 1 億 94 百万円減少して期末残高は、3 億 90 百万円となりました。

(損 益)

業務純益は、資金運用収益の増加などにより、前期比 96 百万円増加して 8 億 15 百万円となりました。

経常利益は、業務純益の増加を主因に、前期比 46 百万円増加して 3 億 49 百万円となりました。

当期純利益は、前期比 1 億 34 百万円増加して 3 億 17 百万円となりました。

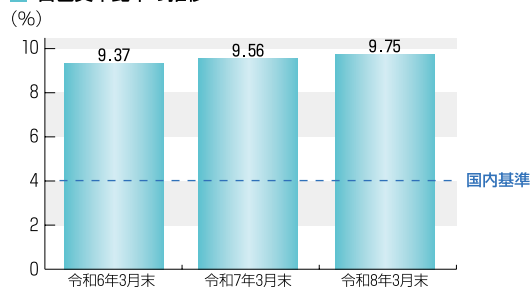
(会員勘定)

当期中の会員は、1,152 名減少して 52,868 名となり、出資金の期末残高は、26 億 45 百万円となりました。

4. 自己資本比率について

自己資本比率は、前年度比 0.19 ポイント上昇して 9.75 % となり、国内基準の 4 % を大きく上回っています。

■ 自己資本比率の推移



■ 自己資本比率

(単位:百万円)

	令和6年3月末	令和7年3月末	令和8年3月末
自己資本額(A)	20,111	20,193	20,274
リスクアセット等(資産等)(B)	214,459	211,155	207,804
自己資本比率(A/B)	9.37%	9.56%	9.75%

[参考]自己資本比率とは、金融機関の健全性を示す重要な指標で、当金庫の9.75%という比率は国内基準4%を大きく上回る水準にあり、当金庫の財務体質の健全性を示しています。

5. 信用金庫法及び金融再生法に基づく開示債権について

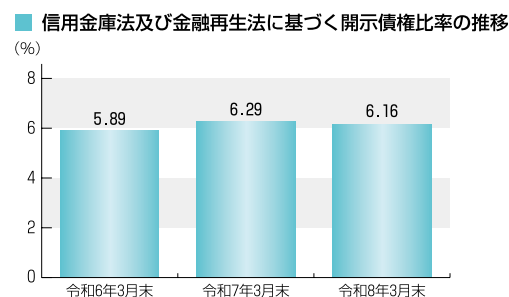
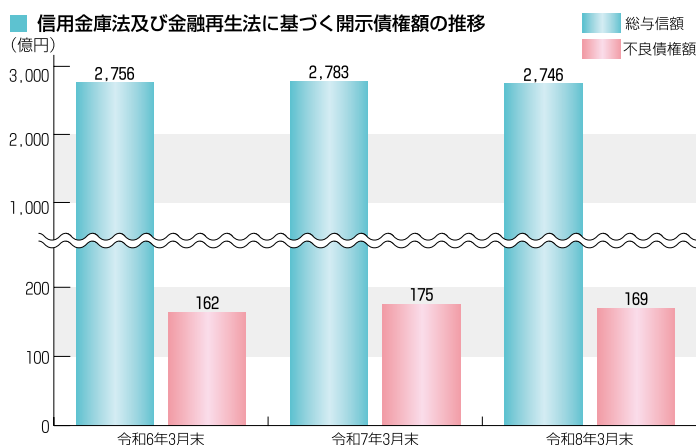
貸出金の償却を行った結果、信用金庫法及び金融再生法に基づく不良債権額は 169 億円となりました。なお、貸出金等の総与信に対する不良債権額の割合は、6.16 % となっています。

■ 信用金庫法及び金融再生法に基づく開示債権保全状況

(単位:百万円)

開示区分	令和7年3月末	令和8年3月末
信用金庫法及び金融再生法に基づく不良債権(A)	17,523	16,939
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,567	5,253
危険債権	11,190	9,896
要管理債権	1,766	1,788
三月以上延滞債権	—	—
貸出条件緩和債権	1,766	1,788
正常債権	260,789	257,672
保全額(B)	15,650	15,133
担保・保証等	12,564	11,957
貸倒引当金	3,085	3,175
保全率(B/A)	89.31%	89.33%

(注)総与信～貸出金・債務保証見返・仮払金・未収利息・外国為替

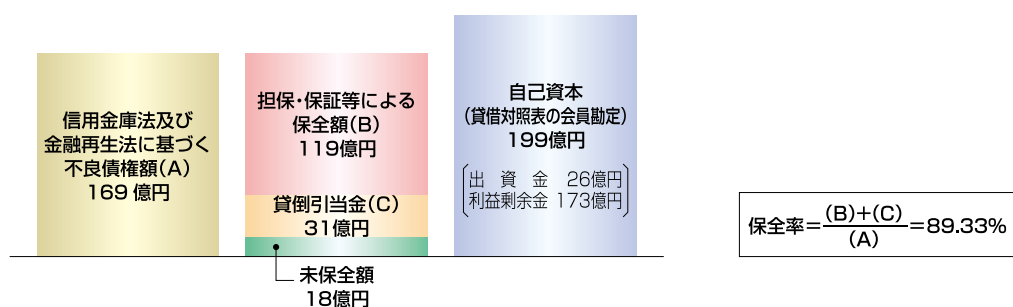


6. 不良債権に対する備え

信用金庫法及び金融再生法に基づく不良債権額は 169 億円 (A) ですが、この金額全てが損失となるわけではありません。

担保・保証等及び貸倒引当金で 151 億円 (B+C) が保全されており、保全率は 89.33 %と高水準となっています。未保全額は 18 億円となりますが、これに対して自己資本等は 199 億円あり不良債権に対する備えは万全です。

■ 信用金庫法及び金融再生法に基づく不良債権と特別積立金等の備えについて



7. 事業の展望

当金庫は、令和 7 年 10 月に、当金庫が目指す姿、役職員の共通の価値観として、「すべてはお客さまの笑顔と感謝のために」を掲げ、お客さまとの強固なパートナーシップの構築に向けて「お客さまのことを知り尽くします」「お客さまのお困りごとに寄り添います」「お客さまとともに成長します」を業務運営、営業活動の根幹とする「にしんWay」を策定いたしました。役職員が共通の認識のもと、協同組織の金融機関として相互扶助を追求し、地域社会の発展に貢献してまいります。

8. 当金庫が対処すべき課題

令和 8 年度は、経営 3 か年計画の最終年度として重要な事業年度と位置付け、「にしんWay」を推進し、地域からの信頼性の回復に努めていくとともに、長期的な視点で営業基盤の強化、持続可能な収益の確保に取り組んでいく変革の 1 年といたします。

業務運営にあたっては、「地域社会・お客さまの発展に繋がる支援力・営業力・組織力の変革」、「金庫組織体制・営業態勢の変革」、「役職員人財力の革新」、「業界総合力の実践的活用」を重点戦略とし、「にしんWay」のもと、地域・お客さま・職員の成長、幸せのために行動し、信用金庫の強みである「Face to Face」による心の通った活動、お客さまのお役に立つ、お客さまに喜んでいただける営業活動を実践して、役職員が一丸となって地域のお客さまの期待に応えてまいります。

● 庶務の概況

1. 通常総代会

＊令和 7 年 6 月 24 日第 117 回通常総代会を開催し、下記議案が承認可決されました。

【報 告 事 項】

- 1、第 117 期（令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで）
業務報告、貸借対照表及び損益計算書の内容報告
- 2、第 117 期（令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで）
決算に係る監事監査結果報告

【決 議 事 項】

- 第 1 号議案 剰余金処分案承認の件
- 第 2 号議案 定款一部変更の件
- 第 3 号議案 所在不明会員除名の件
- 第 4 号議案 理事 10 名選任の件
- 第 5 号議案 退任理事に対する役員退職慰労金贈呈の件

2. 登記事項

- 令和 7 年 4 月 1 日 出資の総口数（5,294,084 口）及び出資総額（2,647,042,000 円）の変更登記をいたしました。
- 令和 7 年 6 月 25 日 代表理事の変更登記をいたしました。
- 令和 8 年 2 月 16 日 小郡支店、秋芳出張所の住居表示実施に伴う変更登記をいたしました。

3. その他のおもな事項

- 令和 7 年 5 月 12 日 金融犯罪に係る警察への情報提供について、山口県警察と協定を締結いたしました。
- 令和 7 年 6 月 2 日 懸賞金付き定期積金「信ちゃん積金」を令和 8 年 3 月 31 日まで取り扱いいたしました。
- 令和 7 年 7 月 1 日 新たに公的年金のお受け取りされる方へ懸賞企画付定期預金「特別年金定期預金プライム」を令和 8 年 3 月 31 日まで取り扱いいたしました。
- 令和 7 年 9 月 1 日 金融犯罪に係る警察への情報提供について、島根県警察と協定を締結いたしました。
- 令和 7 年 10 月 23 日 当金庫が目指す姿、目指す方向性、また、役職員の共通の価値観とする「にしんWay」を策定いたしました。
- 令和 8 年 2 月 10 日 お客さまが貸金庫を適正に利用いただくために、貸金庫約款および自動貸金庫約款を改定いたしました。

●貸借対照表

第118期（令和8年3月31日現在）

（単位：百万円）

科 目	金 額	科 目	金 額
（ 資 産 の 部 ）		（ 負 債 の 部 ）	
現 金	8,989	預 金 積 金	501,759
預 け 金	90,744	当 座 預 金	14,206
買 入 金 銭 債 権	5,125	普 通 預 金	284,565
金 銭 の 信 託	0	貯 蓄 預 金	16,210
有 価 証 券	124,028	通 知 預 金	271
国 債	25,429	定 期 預 金	173,672
地 方 債	8,301	定 期 積 金	7,976
社 債	51,894	そ の 他 の 預 金	4,856
株 式	258	借 用 金	386
そ の 他 の 証 券	38,144	借 入 金	386
貸 出 金	273,933	そ の 他 負 債	1,758
割 引 手 形	410	未 決 済 為 替 借	76
手 形 貸 付	13,141	未 払 費 用	669
証 書 貸 付	247,128	給 付 補 填 備 金	5
当 座 貸 越	13,253	未 払 法 人 税 等	8
外 国 為 替	44	前 受 収 益	166
外 国 他 店 預 け	44	払 戻 未 済 金	4
そ の 他 資 産	4,849	払 戻 未 済 持 分	17
未 決 済 為 替 貸	117	金 融 派 生 商 品	25
信 金 中 金 出 資 金	3,550	リ ー ス 債 務	305
未 収 収 益	531	資 産 除 去 債 務	230
そ の 他 の 資 産	649	そ の 他 の 負 債	248
有 形 固 定 資 産	7,336	退 職 給 付 引 当 金	369
建 物	2,334	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	61
土 地	3,518	睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金	1
リ ー ス 資 産	269	偶 発 損 失 引 当 金	57
建 設 仮 勘 定	566	再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 負 債	99
その他の有形固定資産	646	債 務 保 証	493
無 形 固 定 資 産	81	負 債 の 部 合 計	504,987
ソ フ ト ウ ェ ア	49	（ 純 資 産 の 部 ）	
その他の無形固定資産	31	出 資 金	2,645
債 務 保 証 見 返	493	普 通 出 資 金	2,645
貸 倒 引 当 金	△ 3,465	利 益 剰 余 金	17,337
（うち個別貸倒引当金）	（△ 3,075）	利 益 準 備 金	2,593
		そ の 他 利 益 剰 余 金	14,744
		特 別 積 立 金	14,100
		（社会福祉事業積立金）	（160）
		当 期 未 処 分 剰 余 金	644
		会 員 勘 定 合 計	19,982
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△ 12,980
		土 地 再 評 価 差 額 金	172
		評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	△ 12,808
		純 資 産 の 部 合 計	7,174
資 産 の 部 合 計	512,162	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	512,162

● 損益計算書

第118期（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）

（単位：千円）

科 目	金	額
経常収益		7,804,250
資金運用収益	6,711,834	
貸出金利息	4,900,343	
預け金利息	595,453	
有価証券利息配当金	1,113,700	
その他の受入利息	102,336	
役務取引等収益	921,609	
受入為替手数料	259,045	
その他の役務収益	662,564	
その他業務収益	96,755	
外国為替売買益	1,384	
国債等債券償還益	354	
その他の業務収益	95,015	
その他経常収益	74,050	
償却債権取立益	67,583	
その他の経常収益	6,466	
経常費用		7,454,549
資金調達費用	759,061	
預金利息	737,986	
給付補填備金繰入額	6,238	
借入金利息	1,982	
その他の支払利息	12,854	
役務取引等費用	755,684	
支払為替手数料	58,911	
その他の役務費用	696,772	
その他業務費用	451,478	
国債等債券売却損	433,816	
国債等債券償還損	840	
金融派生商品費用	13,820	
その他の業務費用	3,001	
経費	5,166,259	
人件費	3,348,331	
物件費	1,579,206	
税金	238,722	
その他経常費用	322,064	
貸倒引当金繰入額	109,108	
貸出金償却	173,548	
株式等売却損	74	
株式等償却	354	
金銭の信託運用損	0	
その他の経常費用	38,978	
経常利益		349,701
特別損失		26,340
固定資産処分損失	4,091	
減損損失	15,384	
その他の特別損失	6,864	
税引前当期純利益		323,360
法人税、住民税及び事業税	8,598	
法人税等調整額	△ 2,747	
法人税等合計		5,850
当期純利益		317,509
繰越金（当期首残高）		320,222
土地再評価差額金取崩額		6,396
当期末処分剰余金		644,128

● 剰余金処分計算書

第118期（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	金 額
当 期 未 処 分 剰 余 金	644,128,953
剰 余 金 処 分 額	74,664,575
利 益 準 備 金	35,000,000
普通出資に対する配当金	(年 1.5%) 39,664,575
繰 越 金（当 期 末 残 高）	569,464,378

以上のとおりであります。

● 役 員（令和8年3月31日現在）

理 事 長	池 上 弘
常務理事	春 田 裕 司
常務理事	成 田 昌 人
常勤理事	河 原 辰 也
常勤理事	榮 田 昭 徳
常勤理事	中 山 利 幸
理 事	松 尾 正
理 事	米 田 亘 宏
理 事	杉 下 秀 幸
理 事	井 本 浩 二

以上の各項につき監査の結果、正確であることを認めます。

令和8年6月3日

常勤監事	田 中 貴 也
監 事	野 村 雅 之
監 事	阪 田 高 則

なお、和奏監査法人による監査の結果、貸借対照表及び損益計算書については適正、剰余金処分案については法令及び定款に適合と認められております。

トピックス

❖ 日本政策金融公庫と「危機事象発生における業務連携に関する覚書」締結

令和7年5月30日（金）

当金庫は、日本政策金融公庫4支店（下関支店、山口支店、徳山支店、岩国支店）と「危機事象発生における業務連携に関する覚書」を締結いたしました。

日本政策金融公庫との連携により、危機発生時においても早期の事業者支援・災害復旧に貢献できる体制を整備することを目的としています。



❖ 「特殊詐欺被害」防止

うそ電話詐欺被害を未然に防止したかじくり支店、新地支店、宝町支店へ下関警察署より、嘉川出張所へ山口南警察署より感謝状が贈られました。



かじくり支店



新地支店



嘉川出張所



宝町支店

❖ 「にしんWay」を策定

当金庫は、当金庫が目指す姿、目指す方向性、また、役職員の共通の価値観とする「にしんWay」を策定いたしました。

「にしんWay」を当金庫の業務運営、営業活動の根幹として、お客さまとの強固なパートナーシップの構築に向けて取り組んでまいります。

当金庫は、地域の方々が利用者・会員となって互いに地域の繁栄を図る相互扶助を目的とした協同組織の金融機関として、「にしんWay」を歩み、信用金庫の強みである「Face to Face」による心の通った活動、お客さまに喜んでいただける営業活動を実践し、地域のお客さまの期待に応えてまいります。

にしんWay

すべてはお客さまの笑顔と感謝のために！

1. お客さまのことを知り尽くします。
2. お客さまのお困りごとに寄り添います。
3. お客さまとともに成長します。

つながる つづく にしんWay



地域貢献活動

❖ 津和野支店「津和野町内清掃活動」参加

■令和7年4月13日（日）

津和野支店の職員が、「津和野町内清掃活動」に参加いたしました。



❖ 「錦帯橋まつり」参加

■令和7年4月29日（火・祝）

岩国市錦帯橋付近において、岩国地区の職員が「錦帯橋まつり」に参加いたしました。



❖ 「子どものおかね教室」共催

■令和7年8月8日（金）

山口支店において、「子どものおかね教室」を山口県金融広報委員会、山口県、日本銀行下関支店および金融経済教育推進機構と共催しました。



❖ 「第36回西中国信用金庫杯 グラウンドゴルフ大会」開催

■令和7年9月11日（木）

宇部市常磐公園スポーツ広場において、「第36回西中国信用金庫杯グラウンドゴルフ大会」を開催いたしました。



店舗のご案内

下関地区

本部	TEL083-223-3461
本店別館	TEL083-228-2130
本店営業部	TEL083-223-4939
本村出張所	TEL083-266-0145
新地支店	TEL083-222-6247
向洋出張所	TEL083-223-1401
唐戸支店	TEL083-222-6145
山の田支店	TEL083-252-3281
福浦支店	TEL083-266-4266
一の宮支店	TEL083-256-1516
川棚支店	TEL083-772-3450
宝町支店	TEL083-254-2121
向井町出張所	TEL083-266-5251
王司支店	TEL083-248-3544
かじくり支店	TEL083-258-5660
川中支店	TEL083-252-4155
熊野支店	TEL083-253-2411
長府中央支店	TEL083-245-0127
小月支店	TEL083-282-1116
長府駅前支店	TEL083-249-3311
菊川支店	TEL083-287-3655

宇部地区

小野田支店	TEL0836-84-7711
床波支店	TEL0836-51-1260
琴芝支店	TEL0836-22-5151
東岐波支店	TEL0836-51-1260
宇部支店	TEL0836-21-6171
東新川支店	TEL0836-31-0781
西宇部支店	TEL0836-41-1000

山口地区

小郡支店	TEL083-973-2260
阿知須支店	TEL0836-65-4121
嘉川出張所	TEL083-989-2505
秋穂支店	TEL083-984-2216
秋芳出張所	TEL083-973-2260
山口支店	TEL083-922-7355
ひめ山支店	TEL083-932-2711

津和野地区

益田支店	TEL0856-23-2811
徳佐出張所	TEL083-956-0201
日原出張所	TEL0856-74-1111
吉賀支店	TEL0856-78-1111
津和野支店	TEL0856-72-1112

岩国地区

岩国支店	TEL0827-41-0141
南岩国支店	TEL0827-31-8135
錦町出張所	TEL0827-41-0141
岩国中央支店	TEL0827-21-1185

インターネット支店	TEL0120-01-2343
-----------	-----------------

店外ATM設置場所

下関地区

- ・下関駅
- ・シーモール
- ・下関市役所
- ・向井町
- ・リブホール迫町店
- ・マーレとようら
- ・サンパル川棚
- ・ゆめマート下関
- ・後田

山口地区

山口地区

- ・フジ小郡店
- ・秋芳総合支所

岩国地区

- ・錦町
- ・通津

宇部地区

- ・フジグラン宇部
- ・ゆめタウン宇部
- ・フジ西宇部店

会 員 各 位

令和8年6月

西 中 国 信 用 金 庫
理 事 長 池 上 弘

第118回通常総代会の顛末のご通知

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、令和8年6月26日開催の当金庫第118回通常総代会におきまして、下記のとおり報告ならびに決議されましたので、ご通知申し上げます。

敬 具

記

会議の目的事項

報告事項

- 1 第118期（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）
業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告について
- 2 第118期（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）
決算に係る監事監査結果報告について
上記書類の内容を報告いたしました。

決議事項

第1号議案 剰余金処分案承認の件

原案どおり承認可決されました。

第2号議案 所在不明会員除名の件

定款第15条および別表4第5項の規定に基づき、長期間所在が不明であることを事由とし、会員を除名するもの。

原案どおり承認可決されました。

第3号議案 監事3名選任の件

本案は監事3名任期満了に伴う選任でありまして、原案どおり承認可決され、次のとおり監事3名が選任され就任いたしました。

監事（再任） 野村 雅之

監事（再任） 阪田 高則

以上2名重任

監事（新任） 中村 徹

以上1名新任

なお、監事に就任いたしました野村雅之氏、阪田高則氏は、信用金庫法第32条第5項に定める員外監事であります。

第4号議案 理事3名選任の件

経営体制の充実を図るための選任でありまして、原案どおり承認可決され、次のとおり理事3名が選任され就任いたしました。

理事 田中 貴也

理事 上野 潤一

理事 片岡 謙蔵

以上3名新任

また、通常総代会終了後直ちに臨時理事会を開催し、次のとおり選定され就任いたしました。

常務理事（代表理事） 田中 貴也

以上1名選定

第5号議案 退任理事および退任監事に対する役員退職慰労金贈呈の件

退任理事および退任監事に対し、その在任中の功労に報いるため、当金庫の定める基準に従い、相当額の範囲内で退職慰労金を贈呈することとし、その具体的金額、贈呈時期および方法については、退任理事は理事会に、退任監事は監事会に一任願うもの。

本案は令和8年6月26日の通常総代会の終結の時をもって退任されました、理事 春田裕司氏、監事 田中貴也氏に対しまして、退職慰労金を贈呈するものでありまして、原案どおり承認可決されました。

以 上